Panasonic

電気錠操作器

（1回路）（埋込型）（プレート別売）

品番 WQN4103W

取扱説明書

保証書別添付

施工説明書別添付

●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（1ページ）を必ずお読みください。

●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

ご使用前に

●この商品は室内から玄関の電気錠を施・解錠する機能とドアの開閉により報知・警報を知らせる機能を持っています。また、シークレットスイッチを接続して暗証番号により施・解錠する機能や非接触式キーリーダーを接続して非接触式カード・非接触式タグにより施・解錠する機能を持っています。

●電気錠システムは盗難防止器ではありませんので、盗難事故などの損害については責任を負い兼ねますので、ご了承ください。

●万一の停電・故障に備えて、外出のときは必ずキーを持って出かけてください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の記号で説明しています。
（次は図記号の例です。）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告	
分解禁止	●絶対に分解したり修理・改造しない。 感電の原因となります。
必ず守る	●小さなお子様が非接触式タグ（別売）を誤って飲まないようにする。 ●非接触式タグ（別売）はお子様の手の届かないところへ置く。 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

もくじ

ご 注 意

●この商品は予備電源（バッテリー）を内蔵していませんので停電時はドアを施・解錠できません。外出するときは、万一に備えて必ずキーを持って出かけてください。

●電気錠システムに接続されているブレーカーは長時間切らないでください。
（万一、ブレーカーまたはAC100V通電を切る必要があるときは、電気錠を解錠状態にしてください。）

●ドアが完全に閉まっていないと、施錠できない場合があります。
施錠操作したときは必ず解錠表示灯が消えたことをお確かめください。

●モーター式電気錠（別売）使用時、開戸中は電気錠のトリガーには触れないでください。電気錠操作器の自動施錠「入・切」スイッチが「入」側の場合トリガーを押すと、デッドボルトが出てしまい、ドアが閉められなくなります。
また警戒モードのときは、「ピーポー」音が鳴ります。
（詳しくは31ページを参照してください。）

●暗証番号を忘れた場合はシークレットスイッチでドアを解錠することができません。
忘れない番号にするか、メモなどで確実にわかるようにしてください。

●シークレットスイッチは暗証番号を間違って入力してエンドボタンを押すと、次にスタートボタンを押しても約10秒間は入力できません。
（番号を間違って入力し、エンドボタンを押した場合は約10秒間お待ちください。）

●自動施錠「入・切」スイッチを「入」側に設定すると自動的に施錠されます。シークレットスイッチを接続していない場合、外出するときは必ずキーを持って出かけてください。
（ただし、機能設定により自動施錠「無」側にも設定できます。
詳しくは33～34ページを参照ください。）

●非接触式カード・非接触式タグを使用する場合は、登録が必要です。
（詳しくは9～21ページを参照してください。）

●非接触式カードと非接触式キーリーダーとの制御可能距離は約2.5cmです。

●非接触式タグと非接触式キーリーダーとの制御可能距離は約1cmです。

●非接触式カード・非接触式タグは曲げたり、ねじったり、強い衝撃を与えると使えなくなることがありますのでご注意ください。

●非接触式カード・非接触式タグは穴あけなどの加工は行わないでください。

●非接触式カード・非接触式タグは、他の非接触式カード・非接触式タグや他のカード、金属物などと重ねて使用すると、動作しないことがあります。

●悪用防止のため、非接触式カード・非接触式タグをなくされた場合は､すぐにその非接触式カード・非接触式タグの登録を電気錠操作器から消去してください。
（詳しくは9～21ページを参照してください。）
非接触式カード・非接触式タグに名前や住所は記入しないでください。

- ●マスターキーをなくされた場合は、登録されているすべての非接触式カード・非接触式タグを消去し、再度登録をしてください。
- ●この電気錠システムには、非接触式タグ(EK3893)、非接触式カード(EK3895)のみ使用できます。他のカードやタグは使用できません。
- ●サムターンまたはキーなどで手動解錠できない場合は、電気錠操作器からの操作でも解錠できません。

▶停電したら

- ●この商品は、予備電源(バッテリー)を内蔵していませんので、停電の場合は動作しません。
- ●電気工事などで長時間停電するような場合は、電気錠を解錠状態にして、主錠で施・解錠を行ってください。

使用上のご注意

●水をかけないで!

故障の原因となります。

●ストーブなど高温の物を近づけないで!

故障の原因となります。

●炊飯器など湯気の出る物を下に置かないで!

故障の原因となります。

●テレビ・ラジオなどは2m以上離して!

映像や音声が乱れる場合があります。

お 手 入 れ

ふだんのおそうじは…

やわらかい布でふき取ってください。

汚れが目立つときは…

中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使用しないでください。

注 **ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。**

各部のなまえとはたらき

電気錠操作器(1回路)(埋込型)(プレート別売)(WQN4103W)

スピーカー

●開戸報知音や警報音が聞こえます。

電源灯

●緑色点灯で電源が入っていることを示します。

自動施錠表示灯

●緑色点灯で自動施錠「入」側であることを示します。
自動施錠「入」側のとき(自動施錠モード)は、ドアを閉めると自動的に施錠されます。

自動施錠「入・切」スイッチ(送りボタン)

●押すたびに「入・切」を繰り返します。

報知/警戒/切スイッチ(決定ボタン)

●押すたびに「切」→「報知」→「警戒」→「切」とモードが変わります。

報知表示灯

●緑色点灯で「報知」状態を表示し、ドアが開くと開戸報知音(ポロロン)が鳴動します。
●消灯時はドアが開いても開戸報知音(ポロロン)は鳴動しません。(「報知」状態ではありません。)

プレート(別売)

施解錠押ボタン

●ドアを施錠または解錠状態にするときに使用します。

解錠表示灯

●赤色点灯で電気錠解錠状態を示します。
(ランプ消灯時は電気錠施錠状態を示します。)

警戒表示灯

●赤色点灯で「警戒」状態を表示し、電気錠操作器・電気錠操作押釦・シークレットスイッチ・非接触式キーリーダーで解錠せずにドアが開くと赤色点滅し、警報音(ピーポー)が鳴動します。(サムターンまたはキーで解錠した場合、警報音(ピーポー)が鳴ります。)
また、解錠中にドアが開くと開戸報知音(ポロロン)が鳴動します。

施工店設定 機能設定でこじ開け(施錠状態で扉が開いた場合)時のみ警報音(ピーポー)を鳴らすこともできます。(施工店に相談してください。)
(警戒モード切替設定 ➡ 33~34ページ)

●消灯時はドアが開いても警報音(ピーポー)、開戸報知音(ポロロン)は鳴動しません。(「警戒」状態ではありません。)

開戸表示灯

●赤色点灯でドアが開いていることを示します。

設定カバーの開け方

設定カバーを開けた状態

登録表示

●非接触式カードまたは非接触式タグの登録時、登録内容などを表示します。
●登録されている非接触式カード・非接触式タグでの施・解錠操作のときキー No.を表示します。
（非接触式カード・非接触式タグの登録方法 ➡ 9～21ページ）

登録モードボタン

●非接触式カードまたは非接触式タグを登録するときに使用します。
（非接触式カード・非接触式タグの登録方法 ➡9・14・18・20ページ）
●押すと、非接触式カード・非接触式タグの登録枚数の確認ができます。

機能設定スイッチ

●機能設定するときに使用します。
（カバーの裏面に設定項目を記載しています。）

暗証番号設定スイッチ

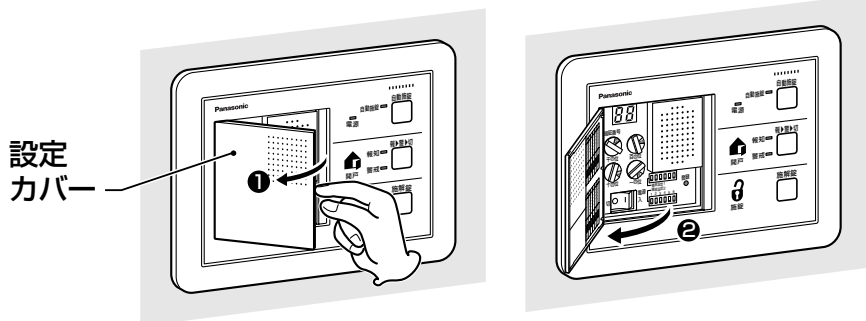
●暗証番号を設定するときに使用します。
（シークレットスイッチの暗証番号の設定方法 ➡7ページ）

■接続可能機器

接続可能機器	機　能　説　明
シークレットスイッチ	外部から暗証番号でのドアの施・解錠機能
非接触式キーリーダー	外部から非接触式カードまたは非接触式タグでのドアの施・解錠機能
電気錠操作押釦	電気錠操作器以外でのドアの施・解錠機能 施・解錠表示および開戸表示・閉戸表示機能

シークレットスイッチの暗証番号の設定方法

1 設定カバーを開ける。

●左側へ起こすと開きます。

2 暗証番号設定スイッチで4ケタの番号を設定する。

●暗証番号は必ず4ケタで設定してください。

注 図は暗証番号を1234と設定した場合

●暗証番号はメモなどして忘れないようにしてください。
●暗証番号を変更されるときはご家族に十分徹底させてください。

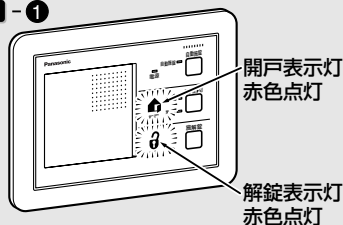
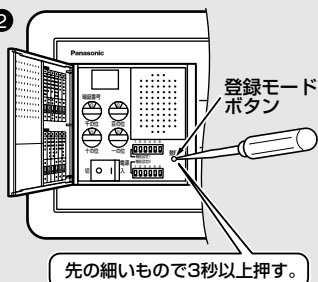
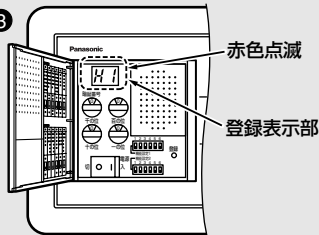
暗証番号				

非接触式カード・非接触式タグの登録方法

注 ●非接触式カード・非接触式タグを使用する場合は、登録が必要です。
●マスターキーを登録する場合は、モード番号 H1 は使用しません。
その場合非接触式カード・非接触式タグの登録は、モード番号 H6 で行ってください。
●セキュリティ性を重視する場合は、マスターキーを登録してください。
マスターキーを登録した場合、マスターキーがないと非接触式カード・非接触式タグの登録はできません。「登録について」(17～18ページ)を参照してください。
●非接触式カードと非接触式キーリーダーとの制御可能距離は約2.5cmです。
●非接触式タグと非接触式キーリーダーとの制御可能距離は約1cmです。

登録モード移行操作

注 エラー表示については、エラー表示について (11ページ)を参照してください。

1 モード選択状態への移行。

❶電気錠を開戸・解錠状態にする。

注 「登録について」(13～18ページ)の操作のときのみ必要です。

❷設定カバーを開き、登録モードボタンを先の細いもので押すと、登録枚数が表示され、そのまま3秒以上押すと、モード選択状態へ移行する。

❸登録表示部に H1 または H2 が赤色点滅する。

注 1－❷以降の操作で何も操作しない状態が1分以上続くと、自動的に登録モードを終了するので、1の操作からやり直してください。

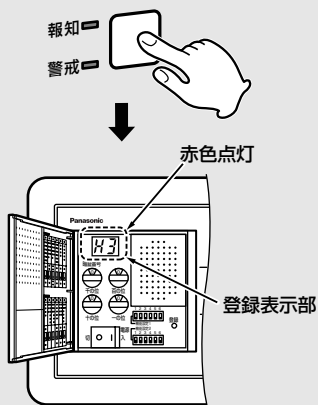
注 モード番号については、 **モード番号について** (12ページ)を参照してください。

2 電気錠操作器からのモード選択操作。

2-❶

❶ **送りボタン(自動施錠「入・切」スイッチ)を押し、操作する内容のモード番号を選択する。**

注 送りボタン(自動施錠「入・切」スイッチ)を1回押すごとに登録表示部のモード番号がかわります。

2-❷

●図は非接触式カード・非接触式タグの「登録個別消去」を選択した場合を示します。

❷ **決定ボタン(報知／警戒／切スイッチ)を押す。**

注 H1 H5 H6 選択時、電気錠が開戸・解錠状態でない場合、登録表示部にエラー表示(E5)が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。

3 決定したモード番号での操作を行う。

●詳細は13～21ページを参照してください。

エラー表示について

登録表示部の表示	登録表示部の内容	動　　作	内　　容
E1	登録不可	●登録表示部に E1 が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。	●非接触式カード・非接触式タグがすでに99枚登録されていて登録できない場合に表示されます。
E2	該当データなし	●登録表示部に E2 が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。	●非接触式カード・非接触式タグが1枚も登録されていないとき、「登録個別消去について」(19～20ページ)「登録全消去について」(21ページ)の操作を行った場合に表示されます。
E3	シリアルNo.重複	●登録表示部に E3 が3秒間表示されます。	●すでに登録された非接触式カード・非接触式タグを登録しようとした場合に表示されます。
E5	電気錠状態不適	●登録表示部に E5 が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。	●「マスターキー登録について」(15～16ページ)「登録について」(13～14・17～18ページ)の操作のとき、電気錠が開戸・解錠状態でない場合に表示されます。
E6	マスターキーのデータ不一致	●登録表示部に E6 が3秒間表示されます。	●「登録について」(17～18ページ)の操作のとき、登録されたマスターキーのデータと一致しない場合に表示されます。

モード番号について

モード番号	内　　容	参照ページ
H1	**マスターキー登録設定「無」の場合** 非接触式カード・非接触式タグの登録をします。 **マスターキー登録設定「有」の場合** 使用しません。 （マスターキー登録設定（33～34ページ）が「有」側の場合 H1 は表示されません。 非接触式カード・非接触式タグの登録は、モード番号 H6 で行ってください。）	13～14ページ
H2	使用しません。	——
H3	非接触式カード・非接触式タグの登録を個別消去します。	19～20ページ
H4	非接触式カード・非接触式タグの登録を全て消去します。 マスターキーの登録も消去されます。	21ページ
H5	**マスターキー登録設定「無」の場合** 使用しません。 （マスターキー登録設定（33～34ページ）が「無」側の場合 H5 は表示されません。） **マスターキー登録設定「有」の場合** マスターキーの登録をします。	15～16ページ
H6	**マスターキー登録設定「無」の場合** 使用しません。 （マスターキー登録設定（33～34ページ）が「無」側の場合 H6 は表示されません。） **マスターキー登録設定「有」の場合** 非接触式カード・非接触式タグを登録します。 このモードで登録する場合は、H5 のモードでマスターキーの登録が必要です。	17～18ページ

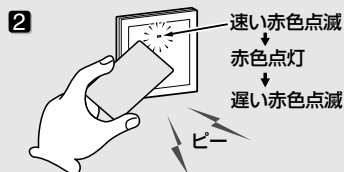
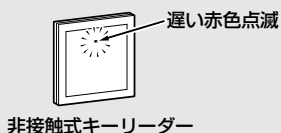
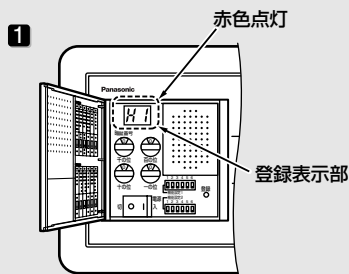
マスターキー登録設定「無」の場合

登録について

●この操作は接続した非接触式キーリーダーで電気錠の施・解錠操作ができる非接触式カード・非接触式タグを登録する操作です。

注 ●登録できる非接触式カード・非接触式タグは99枚までです。

●登録した非接触式カード・非接触式タグのキーNo.は控えておいてください。「登録個別消去について」(19〜20ページ)のとき必要です。

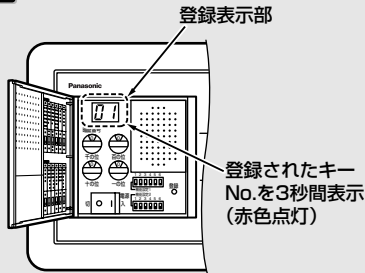
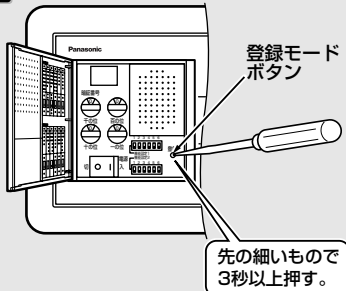
●キーNo.を確認するには、登録されている非接触式カード・非接触式タグで施・解錠操作をしてください。登録表示部にキーNo.が表示されます。

1 登録モード移行操作(9〜10ページ参照)を行い HI を点灯させる。

●操作中に電気錠の状態に変化があった場合、自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。

●登録表示部に E5 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」(11ページ)を参照してください。

●図は非接触式カードをかざした場合を示します。

2 登録表示部に HI が赤色点灯した状態で、非接触式カードまたは非接触式タグを非接触式キーリーダーにかざす。

2

●図はキーNo.「01」を登録した場合を示します。

- ●登録表示部に登録されたキーNo.（01～99）を3秒間表示し、H1の表示に戻ります。
- ●非接触式キーリーダーの表示灯は、速い赤色点滅から（登録音(ピー)が鳴る）、赤色点灯にかわり、遅い赤色点滅になります。
登録音(ピー)が鳴らない場合は再度、かざしてください。

- ●最初の非接触式カードまたは非接触式タグを5分以内に非接触式キーリーダーにかざしてください。5分以上経過すると自動的に登録モードを終了するので、**1** の操作からやり直してください。
- ●非接触式キーリーダーからエラー音(ピッピッピッ)が鳴り、登録表示部にE1またはE3が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」(11ページ)を参照してください。

続けて登録する場合

- ●**2** の操作を繰り返してください。

注

- ●1分以上、次の登録がない場合、自動的に登録モードを終了します。
- ●100枚目の非接触式カード・非接触式タグを登録しようとした場合、登録表示部にエラー表示（E1）が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。

3

3 操作終了後は、登録モードボタンを3秒以上押す。

- ●登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。

マスターキー登録設定「有」の場合

マスターキー登録について

●この操作はモード番号 H6（17～18ページ）で非接触式カード・非接触式タグを登録するときに必要なマスターキー（非接触式カードまたは非接触式タグ）を登録する操作です。

●登録できるマスターキーは 1 枚のみです。

●マスターキーを確認するには、登録されている非接触式カードまたは非接触式タグで施・解錠操作をしてください。登録表示部に 00 が表示されます。

●マスターキーを再登録する場合は、「登録全消去について」(21ページ)を行ってください。

1 登録モード移行操作（9～10ページ参照）を行い HS を点灯させる。

●操作中に電気錠の状態に変化があった場合、自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。
すでにマスターキーが登録されている場合は、登録表示部に HS は表示されません。

●登録表示部に E5 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」(11ページ)を参照してください。

2

●図は非接触式カードをかざした場合を示します。

●図はマスターキー「00」を登録した場合を示します。

2 登録表示部に HS が赤色点灯した状態で、非接触式カードまたは非接触式タグを非接触式キーリーダーにかざす。

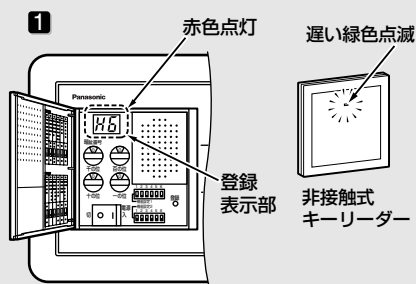
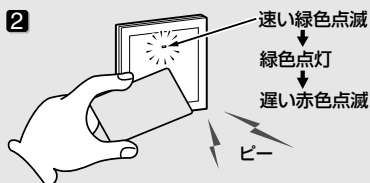
●登録表示部にマスターキーのNo.（88）を3秒間表示し、消灯します。
●非接触式キーリーダーの表示灯は、速い緑色点滅から緑色点灯（登録音（ピー）が鳴る）し、消灯します。
登録音（ピー）が鳴らない場合は再度、かざしてください。

注 非接触式カードまたは非接触式タグを5分以内に非接触式キーリーダーにかざしてください。
5分以上経過すると自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。

マスターキー登録設定「有」の場合

登録について

●この操作は接続した非接触式キーリーダーで電気錠の施・解錠操作ができる非接触式カード・非接触式タグを登録する操作です。

注
●登録できる非接触式カード・非接触式タグは99枚までです。
●登録した非接触式カード・非接触式タグのキーNo.は控えておいてください。「登録個別消去について」(19～20ページ)のとき必要です。
●キーNo.を確認するには、登録されている非接触式カード・非接触式タグで施・解錠操作をしてください。登録表示部にキーNo.が表示されます。

●図はマスターキー(非接触式カードの場合)をかざした場合を示します。

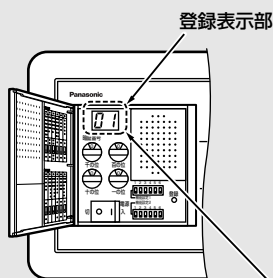
1 登録モード移行操作(9~10ページ参照)を行い H6 を点灯させる。

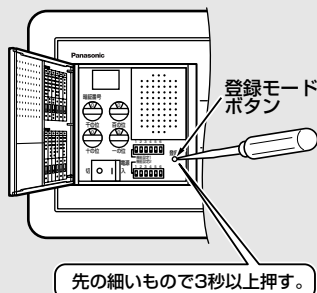
注 ●操作中に電気錠の状態に変化があった場合、自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。

●登録表示部に E5 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」(11ページ)を参照してください。

2 登録表示部に H6 が赤色点灯した状態で、マスターキー(非接触式カードまたは非接触式タグ)を非接触式キーリーダーにかざす。

**●非接触式キーリーダーの表示灯は、速い緑色点滅から(登録音(ピー)が鳴る)、緑色点灯にかわり、遅い赤色点滅になります。
登録音(ピー)が鳴らない場合は再度、かざしてください。**

注 ●マスターキー(非接触式カードまたは非接触式タグ)を5分以内に非接触式キーリーダーにかざしてください。5分以上経過すると自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。
●登録表示部に E6 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」(11ページ)を参照してください。

●図は非接触式カードをかざした場合を示します。

●図はキーNo.「01」を登録した場合を示します。

3 非接触式カードまたは非接触式タグを非接触式キーリーダーにかざす。

●登録表示部に登録されたキーNo.（01～99）を3秒間表示し、H6 の表示に戻ります。

●非接触式キーリーダーの表示灯は、速い赤色点滅から（登録音（ピー）が鳴る）、赤色点灯にかわり、遅い赤色点滅になります。
登録音（ピー）が鳴らない場合は再度、かざしてください。

注
●最初の非接触式カードまたは非接触式タグは、1分以内に非接触式キーリーダーにかざしてください。
1分以上経過すると自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。
●非接触式キーリーダーからエラー音（ピッピッピッ）が鳴り、登録表示部に E1 または E3 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」（11ページ）を参照してください。

続けて登録する場合

● 3 の操作を繰り返してください。

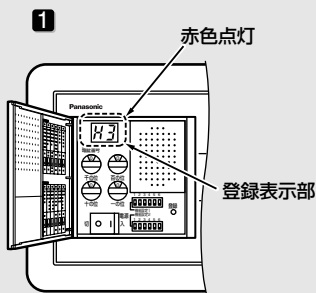
注
●1分以上、次の登録がない場合、自動的に登録モードを終了します。
●100枚目の非接触式カード・非接触式タグを登録しようとした場合、登録表示部にエラー表示（E1）が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。

4 操作終了後は、登録モードボタンを3秒以上押す。

●登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。

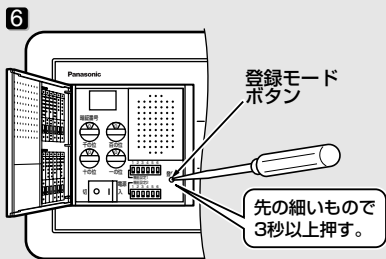
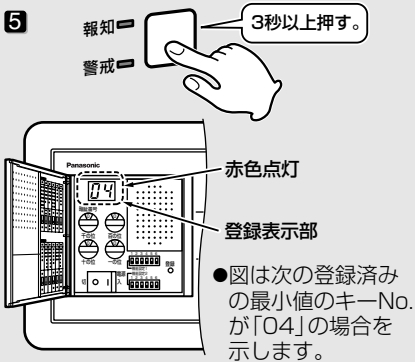
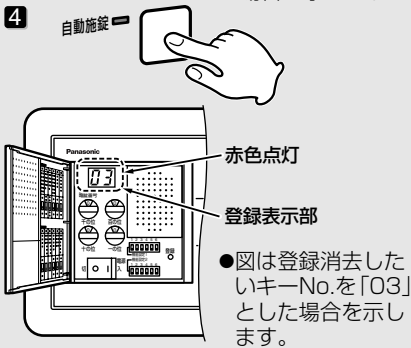
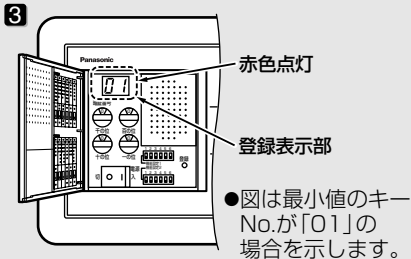
登録個別消去について

●この操作は非接触式カード・非接触式タグの登録を個別消去する操作です。登録消去した非接触式カード・非接触式タグでの施・解錠操作はできなくなります。再度、登録消去した非接触式カード・非接触式タグを使用される場合は、「登録について」（13〜18ページ）の操作をしてください。

●「登録個別消去について」の操作方法は、マスターキーの登録に関係なく動作します。
●キーNo.を確認するには、登録されている非接触式カード・非接触式タグで施・解錠操作をしてください。登録表示部にキーNo.が表示されます。

1 登録モード移行操作（9〜10ページ参照）を行いH3を点灯させる。

注 以下の操作で何も操作しない状態が1分以上続くと、自動的に登録モードを終了するので、1の操作からやり直してください。ただし、5の操作で、すでに登録消去された非接触式カードまたは非接触式タグは消去されています。

2 登録表示部にH3が赤色点灯した状態で、送りボタン(自動施錠「入・切」スイッチ)を押す。

注 登録表示部にE2が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」（11ページ）を参照してください。

3 登録済みの最小値のキーNo.が登録表示部に表示される。

連続して行う場合

4 送りボタン（自動施錠「入・切」スイッチ）を押し、登録消去したいキーNo.を登録表示部に表示させる。

●押すごとに登録済みのキーNo.が最小値より順次表示されます。

5 4の状態で決定ボタン（報知／警戒／切スイッチ）を3秒以上押し、登録消去を行う。

●次の登録済みの最小値のキーNo.が登録表示部に表示されます。

6 操作終了後は、登録モードボタンを3秒以上押す。

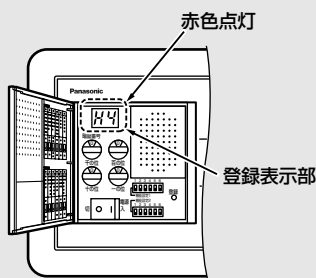
●登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。

マスターキー登録設定「無」の場合

マスターキー登録設定「有」の場合

登録全消去について

●この操作は非接触式カード・非接触式タグの登録をすべて消去する操作です。
（マスターキーも消去されます。）
登録されていた非接触式カード・非接触式タグでの施・解錠操作はできなく
なります。再度、非接触式カード・非接触式タグを使用される場合は、
「登録について」（13～18ページ）の操作をしてください。

「登録全消去について」の操作方法は、マスターキーの登録に関係なく動作します。

1 登録モード移行操作（9～10ページ参照）
を行い H4 を点灯させる。

注 ●以下の操作で何も操作しない状態が
1分以上続くと、自動的に登録モード
を終了するので、**1** の操作からやり
直してください。
●**1** の操作のとき、登録表示部に E2
が3秒間表示された場合は、
「エラー表示について」（11ページ）
を参照してください。

2 登録表示部に H4 が赤色点灯した状態で、決定ボタン（報知／警戒／切スイッチ）を3秒以上押す。

●登録表示部が消灯し、登録モードを
終了します。

ご家族の外出

1 ドアの電気錠を解錠する。

●下記のいずれかの方法で行ってください。

●電気錠操作器の施解錠押ボタンを押す。
（解錠表示灯が赤色点灯します。）

●電気錠操作押釦の施解錠押ボタンを押す。
（解錠表示灯が赤色点灯します。）

●サムターンを回して解錠する。（ドアの内側）

注 門扉用の電気錠にはサムターンが付属されていないものもあります。

警戒モード時、サムターンを回して解錠した場合、警報音（ピーポー）が鳴ります。

施工店設定

機能設定で警報音（ピーポー）を鳴らなくすることもできます。
（施工店に相談してください。）
（警戒モード切替設定 ➡33～34ページ）

2 ドアを開ける。

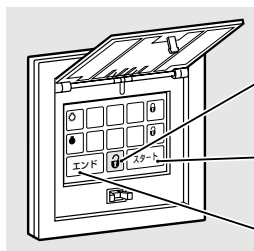
●電気錠操作器より開戸報知音（ポロロン）が鳴る。
（報知・警戒モードの場合）
●電気錠操作器および電気錠操作押釦の開戸表示灯が赤色点灯する。

3 ドアを閉めて施錠する。

電気錠操作器の自動施錠が「入」(自動施錠表示灯が緑色点灯)の場合

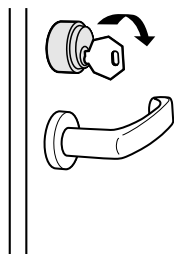
●ドアを閉めると電気錠は自動的に施錠される。
(シークレットスイッチから約1秒間ピー音が鳴ります。)

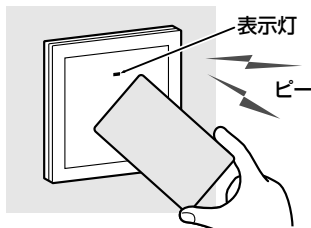
電気錠操作器の自動施錠が「切」(自動施錠表示灯が消灯)の場合

●シークレットスイッチのカバーを開け、次の順序で押ボタンを操作して施錠する。

❶スタートボタンを押す。
(ピッ音が鳴ります。)

❷エンドボタンを押す。
(ピッ音が鳴ります。)

●約1秒間ピー音が鳴り解錠表示灯( )が消灯する。

●シリンダーをキーで回して施錠する。
(ドアの外側)

●非接触式カードまたは非接触式タグを非接触式キーリーダーにかざして施錠する。
(表示灯が赤色点滅したあと、緑色点灯(約3秒間)し、消灯します。)

注 非接触式カード・非接触式タグは、他の非接触式カード・非接触式タグや他のカード、金属物などと重ねて使用しないでください。

約1秒間、
ピー音が鳴る。

●図は非接触式カードをかざした場合を示します。

●非接触式キーリーダーからエラー音(ピッピッピッ)が鳴った場合は施錠されていません。
再度、非接触式カードまたは非接触式タグを非接触式キーリーダーにかざして施錠してください。

注 何度操作してもエラー音(ピッピッピッ)が鳴り、施錠できない場合は、正しく登録されていません。
再度、登録しなおしてください。
(「登録について」13〜18ページ参照)

ご家族の帰宅

1 ドアの電気錠を解錠する。

シークレットスイッチによる解錠

カバーを開け、次の手順で押ボタンの操作をする。

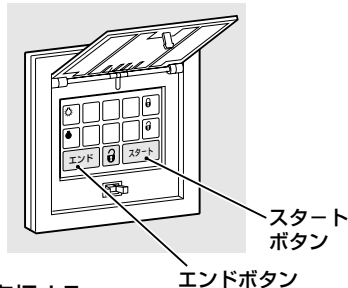
❶ スタートボタンを押す。
（0～9までの番号が赤色点灯します。）

❷ 暗証番号(4ケタ)を順に押す。（7ページ参照）
（表示が番号からF1～F4に変わります。）

注 暗証番号が0023の場合、23と押しても動作しません。0023と押してください。

スタートボタン
エンドボタン

❸ エンドボタンを押す。
約1秒間、ピー音が鳴り解錠表示灯（🔓）が赤色点灯する。
（電気錠操作器および電気錠操作押釦の解錠表示灯も赤色点灯します。）

注 ●間違って操作したら約10秒間待って❶ ❷ ❸ の操作をやりなおしてください。
●押ボタンを押す間隔は約10秒間以内に行ってください。（表示が消えます。）

非接触式カードまたは非接触式タグによる解錠

●非接触式キーリーダーにかざして解錠する。
（表示灯が緑色点滅したあと、赤色点灯し、消灯します。）

●図は非接触式カードをかざした場合を示します。

注 非接触式カード・非接触式タグは、他の非接触式カード・非接触式タグや他のカード、金属物などと重ねて使用しないでください。

●非接触式キーリーダーからエラー音(ピッピッピッ)が鳴った場合は、解錠されていません。
再度、非接触式カードまたは非接触式タグを非接触式キーリーダーにかざして解錠してください。

注 何度操作してもエラー音(ピッピッピッ)が鳴り、解錠できない場合は正しく登録されていません。再度、登録しなおしてください。（「登録について」13～18ページ）

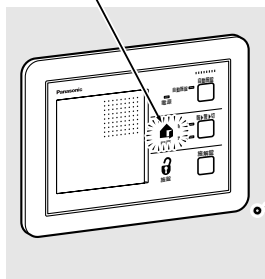
カギによる解錠

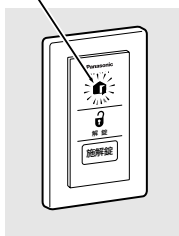
●シリンダーをキーで回して解錠する。
（ドアの外側）

（警戒モード時、シリンダーをキーで回して解錠した場合、警報音（ピーポー）が鳴ります。
施工店設定 **機能設定で警報音(ピーポー)を鳴らなくすることができます。**（施工店に相談してください。）
(警戒モード切替設定 ➡33～34ページ)）

2 ドアを開ける。

●電気錠操作器より開戸報知音（ポロロン）が鳴る。
（報知・警戒モードの場合）

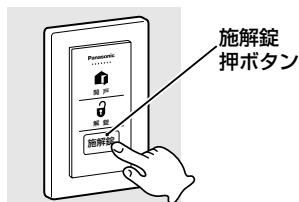
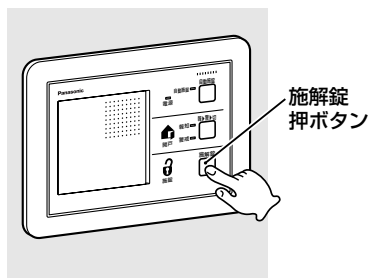
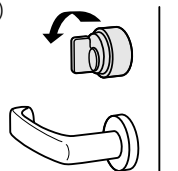
●電気錠操作器および電気錠操作押釦の開戸表示灯が赤色点灯する。

開戸表示灯赤色点灯

開戸表示灯赤色点灯

3 ドアを閉めて施錠する。

電気錠操作器の自動施錠が「入」（自動施錠表示灯が緑色点灯）の場合

●ドアを閉めると電気錠は自動的に施錠される。
（シークレットスイッチから約1秒間ピー音が鳴ります。）

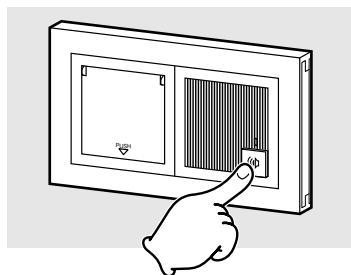
電気錠操作器の自動施錠が「切」（自動施錠表示灯が消灯）の場合

●電気錠操作器の施解錠押ボタンまたは電気錠操作押釦の施解錠押ボタンを押す。
（ドアが施錠され、解錠表示灯が消灯します。）

●サムターンを回して施錠する。
（ドアの内側）

お客様が見えたとき

1 お客様と通話する。

（タッチ3型が接続してある場合）

●お客様がドアホン子器の呼出ボタンを押します。

↓

●呼出音が鳴ります。

↓

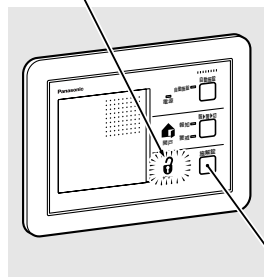
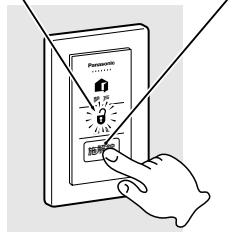
●通話ボタンを押して通話してください。

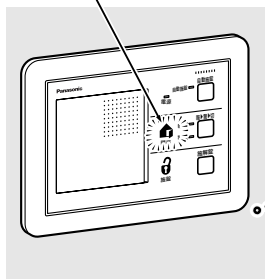
→

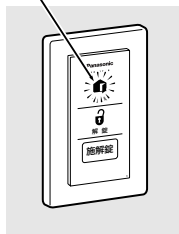
2 ドアの電気錠を解錠する。

■電気錠操作器の施解錠押ボタンまたは電気錠操作押釦の施解錠押ボタンを押す。

●解錠表示灯が赤色点灯します。
（シークレットスイッチの解錠表示灯も赤色点灯します。）

●シークレットスイッチから約1秒間ピー音が鳴ります。

3 ドアを開ける。

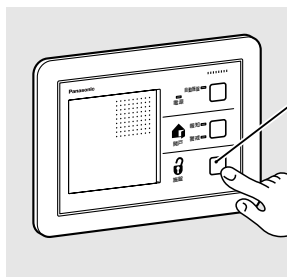
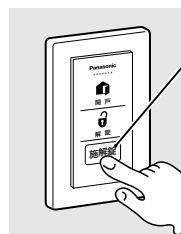
●電気錠操作器より開戸報知音（ポロロン）が鳴る。
（報知・警戒モードの場合）
●電気錠操作器および電気錠操作押釦の開戸表示灯が赤色点灯する。

開戸表示灯赤色点灯

開戸表示灯赤色点灯

4 ドアを閉めて施錠する。

電気錠操作器の自動施錠が「入」（自動施錠表示灯が緑色点灯）の場合

●ドアを閉めると電気錠は自動的に施錠される。
（シークレットスイッチから約1秒間ピー音が鳴ります。）

電気錠操作器の自動施錠が「切」（自動施錠表示灯が消灯）の場合

●電気錠操作器の施解錠押ボタンまたは電気錠操作押釦の施解錠押ボタンを押す。
（ドアが施錠され、解錠表示灯が消灯します。）

施解錠押ボタン

施解錠押ボタン

お客様がお帰りになるとき

1 ドアの電気錠を解錠する。

●下記のいずれかの方法で行ってください。

●電気錠操作器の施解錠押ボタンを押す。
（解錠表示灯が赤色点灯します。）

●電気錠操作押釦の施解錠押ボタンを押す。
（解錠表示灯が赤色点灯します。）

●サムターンを回して解錠する。（ドアの内側）

注：門扉用の電気錠にはサムターンが付属されていないものもあります。

警戒モード時、サムターンを回して解錠した場合、警報音（ピーポー）が鳴ります。

施工店設定

機能設定で警報音（ピーポー）を鳴らなくすることもできます。
（施工店に相談してください。）
（警戒モード切替設定 ➔33～34ページ）

2 ドアを開ける。

●電気錠操作器より開戸報知音（ポロロン）が鳴る。
（報知・警戒モードの場合）

●電気錠操作器および電気錠操作押釦の開戸表示灯が赤色点灯する。

3 ドアを閉めて施錠する。

電気錠操作器の自動施錠が「入」（自動施錠表示灯が緑色点灯）の場合

●ドアを閉めると電気錠は自動的に施錠される。
（シークレットスイッチから約１秒間ピー音が鳴ります。）

電気錠操作器の自動施錠が「切」（自動施錠表示灯が消灯）の場合

●電気錠操作器の施解錠押ボタンまたは電気錠操作押釦の施解錠押ボタンを押す。
（ドアが施錠され、解錠表示灯が消灯します。）

●サムターンを回して施錠する。
（ドアの内側）

警報について

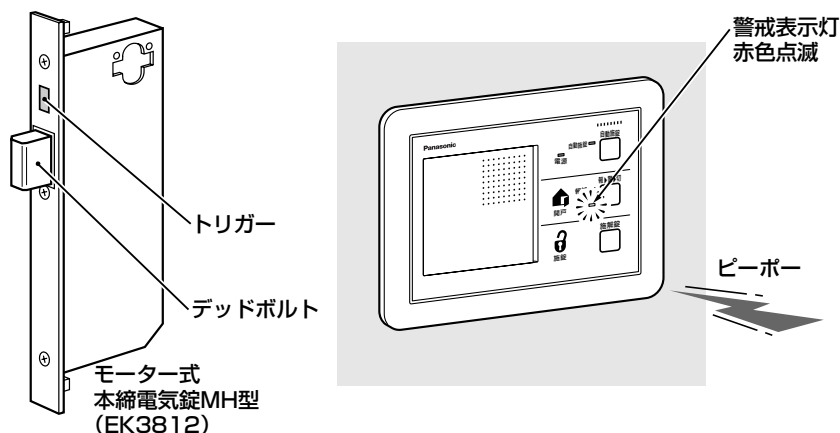
注 機能設定の警戒モード切替設定（33～34ページ）により動作が変わります。
警戒モード切替設定が「1」側の場合、サムターンまたはキーなどで手動解錠した場合も警報音（ピーポー）が鳴ります。

●ドアが施錠され、警戒状態のとき下記のようなことが起きると電気錠操作器の警戒表示灯が赤色点滅し、警報音（ピーポー）が鳴ります。

❶ ドアがこじ開けられたとき。

❷ ドアとドア枠のすき間が大きくなり、ドアが閉まっても開戸表示灯が消灯しないとき。

❸ 電気錠操作器の自動施錠「入・切」スイッチが「入」側で解錠時、トリガーに誤って触れたとき。

❹ サムターンまたはキーなどで開けられたとき。
（機能設定の警戒モード切替設定が「1」側の場合のみ）

●警報音（ピーポー）はドアを閉めても約5分間鳴り続けます。
（警戒表示灯も赤色点滅します。）
5分後、自動的に警報音(ピーポー)は停止しますが、警戒表示灯は報知／警戒／切スイッチを押して、「切」状態にするまで赤色点滅し続けます。

開戸報知音・警報音の止め方

開戸報知音の場合

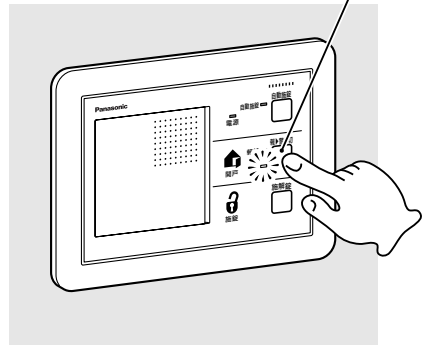
●ドアを閉めれば開戸報知音は止まります。
（機能設定の警戒モード切替設定（33～34ページ）が「1」側の場合のみ）

●開戸報知音は2回鳴ると止まります。
（機能設定の警戒モード切替設定（33～34ページ）が「2」側の場合のみ）

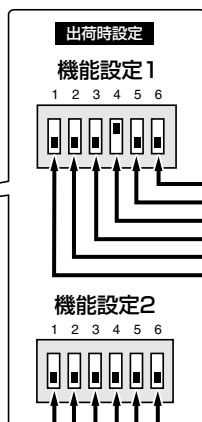
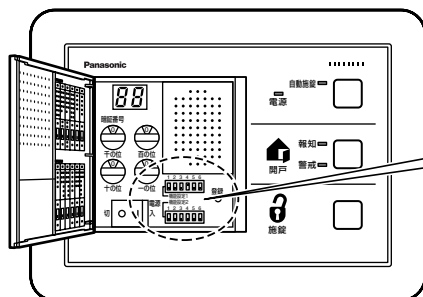
●報知／警戒／切スイッチを押して、「切」状態にすれば開戸報知音は止まります。

報知／警戒／切スイッチ

警報音の場合

●報知／警戒／切スイッチを押して、「切」状態にすれば警報音は止まります。
●5分経過すると自動的に警報音は止まります。

機能設定

注 設定時以外は手を触れないでください。

施工店設定 スイッチの設定については、施工店に相談してください。

開戸出力設定（スイッチ1）

1のとき： 電気錠操作器・非接触式キーリーダーなどの接続機器で解錠操作後に開戸された場合、開戸出力はしません。電気錠操作器を簡易的な警戒操作キースイッチの代わりとして使用できます。

2のとき： 開戸時は常時開戸出力します。

出荷時設定	「1」側：電気錠操作器での解錠操作後、開戸されたときは開戸出力しない

使用しません（スイッチ2、3、4）
（必ず出荷時設定のまま使用してください。）

HA端子解錠禁止設定（HA端子入力による解錠を禁止する設定）（スイッチ5）

無のとき： HA端子による解錠操作が可能です。

有のとき： HA端子による解錠操作ができません。

出荷時設定	「無」側：HA端子による解錠操作が可能

警戒モード切替設定（スイッチ6）

6 1のとき：	電気錠操作器を介さずにサムターンまたはキーなどで手動解錠した場合にも警報鳴動します。（電気錠操作器による解錠時は、開戸報知音は扉が閉まるまで鳴動します。）
6 2のとき：	こじ開け（施錠・開戸状態信号受信）時のみ警報鳴動します。（こじ開け以外での開戸時は、開戸報知音が2回のみ鳴動します。）
出荷時設定	「1」側：電気錠操作器を介さずにサムターンまたはキーなどで手動解錠した場合にも警報発報

音量切替設定（スイッチ5）

5 大のとき：	報知音が大きく聞こえます。
5 小のとき：	報知音が小さく聞こえます。警報音は切り替わりません。
出荷時設定	「大」側：報知音が大きく聞こえる

自動施錠設定操作の設定（スイッチ4）

4 有のとき：	電気錠の自動施錠「入・切」スイッチが有効になります。
4 無のとき：	電気錠の自動施錠「入・切」スイッチが無効となり、自動施錠が設定できなくなります。シークレットスイッチを接続しないときは「無」側にします。
出荷時設定	「無」側：電気錠の自動施錠「入・切」スイッチが無効

閉戸後施錠タイマーの設定（スイッチ3）

3 0秒のとき：	自動施錠モードに設定されているとき、電気錠を取り付けた扉から「扉開➡閉」信号が入ったとき即施錠します。
3 2秒のとき：	自動施錠モードに設定されているとき、電気錠を取り付けた扉から「扉開➡閉」信号が入ったとき2秒後に施錠します。
出荷時設定	「0秒」側：即施錠する（通常は0秒で使用してください。）

解錠後施錠タイマーの設定（スイッチ2）

2 無のとき：	自動施錠モードに設定されているとき、電気錠を取り付けた扉から「扉開➡閉」信号により施錠します。
2 30秒のとき：	自動施錠モードに設定されているとき、電気錠を取り付けた扉から「扉開➡閉」信号により施錠します。また、扉閉状態で解錠状態が30秒以上続くと自動的に施錠します。施錠忘れを防止するときに設定します。
出荷時設定	「無」側：解錠後、施錠タイマーなし

開戸報知・警報音の設定（スイッチ1）

1 有のとき：	開戸報知音・警報音が鳴動します。
1 無のとき：	開戸報知音・警報音が鳴動しません。
出荷時設定	「有」側：開戸報知音・警報音が鳴動する

マスターキー登録設定（スイッチ6）

6 無のとき：	マスターキーは使用しません。
6 有のとき：	マスターキーを使用します。（マスターキーがないと非接触式カード・非接触式タグの登録はできません。）
出荷時設定	「無」側：マスターキーは使用しない

故障かな？と思われたら

●修理、サービスを依頼される前に次の点検・処置をしてください。

状　態	点　検	処　置
電気錠が動作しないとき	●ブレーカーが切れていませんか？	➡ブレーカーを入れてください。
	●電気錠操作器の電源スイッチが「切」側になっていませんか?	➡電源スイッチを「入」側にしてください。
自動施錠「入・切」スイッチを押しても自動施錠表示灯が緑色点灯しないとき	●機能設定の「自動施錠設定操作の設定」（33～34ページ）が「無」側になっていませんか？	➡施工店へ連絡してください。 （機能設定の「自動施錠設定操作の設定」を「有」側に設定してください。ただし、シークレットスイッチが接続されていない場合は、機能設定の「自動施錠設定操作の設定」を「無」側に設定してください。）
シークレットスイッチで暗証番号を押しても解錠できないとき	●暗証番号を間違えていませんか？	➡約10秒後にもう一度、押し直してください。
	●暗証番号が変更されていませんか？	➡暗証番号を調べてください。 注 **シークレットスイッチの暗証番号の設定方法➡7ページ**
非接触式カードまたは非接触式タグをかざしても施・解錠できないとき	●サイフなどに入れてかざしていませんか？	➡サイフなどの中から非接触式カードまたは非接触式タグを出してかざしてください。
	●他の非接触式カード・非接触式タグや他のカード、金属物などと重ねてかざしていませんか？	➡重なった非接触式カードまたは非接触式タグをはなしてかざしてください。
	●非接触式カードまたは非接触式タグは登録されていますか？	➡非接触式カードまたは非接触式タグを登録してください。 注 **「登録について」➡13～18ページ**
サムターンまたはキーで施・解錠できないとき	●ドアは完全に閉まりますか？	➡ドアの建て付け修理をしてください。
サムターンまたはキーがうまく回せないとき		
サムターンまたはキーで解錠しても警報音（ピーポー）が鳴るとき	●機能設定の「警戒モード切替設定」（33～34ページ）が「1」側になっていませんか？	➡サムターンまたはキーなどで解錠される場合は、施工店へ連絡してください。

<table>
<tr><th>状　　態</th><th>点　　検</th><th>処　　置</th></tr>
<tr><td>施錠ができないとき</td><td rowspan="3">●ドアとドア枠の間隔が5mm以上になっていませんか？
●ドアを閉めると開戸表示灯が消灯しますか？</td><td rowspan="3">➡ドアの建て付け修理をしてください。</td></tr>
<tr><td>警戒中にドアを開けないのに、警報音(ピーポー)が鳴るとき</td></tr>
<tr><td>風などでドアががたつくと開戸報知音(ポロロン)または警報音(ピーポー)が鳴るとき</td></tr>
<tr><td>マスターキーの登録ができないとき</td><td>●機能設定の「マスターキー登録設定」(33～34ページ)が「無」側になっていませんか？</td><td>➡マスターキーが必要な場合は、施工店へ連絡してください。
(機能設定の「マスターキー登録設定」を「有」側に設定してください。)</td></tr>
<tr><td>モード番号 H1 が表示されないとき</td><td>●機能設定の「マスターキー登録設定」(33～34ページ)が「有」側になっていませんか？</td><td>➡マスターキーが不要な場合は、施工店へ連絡してください。
(機能設定の「マスターキー登録設定」を「無」側に設定してください。)</td></tr>
<tr><td>モード番号 H5 が表示されないとき</td><td>●機能設定の「マスターキー登録設定」(33～34ページ)が「無」側になっていませんか？</td><td>➡マスターキーが必要な場合は、施工店へ連絡してください。
(機能設定の「マスターキー登録設定」を「有」側に設定してください。)</td></tr>
</table>

仕　様

電源電圧	AC100V　50/60Hz
消費電力	警報時最大：40W以下　待機時：6W以下
使用周囲温度	0℃〜+40℃
寸法	高さ：約110mm　幅：約140mm　奥行：約52mm
質量	約330g
音量	開戸報知音：65dB以上（前方1m） ●ポロロン 警報音：70dB以上（前方1m） ●ピーポー（ピーポー音、5分間で自動停止）

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・使いかた・お手入れなどは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

修理を依頼されるときは…
35～36ページの「故障かな？と思われたら」でご確認のあと、直らないときは、まず電源スイッチを「切」側にして、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名　電気錠操作器

●品　番　WQN4103W

●故障の状況　できるだけ具体的に

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電　　話（　　）　－

お買い上げ日　　年　月　日

●保証期間中は、保証書の規定にしたがって出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

修理料金は次の内容で構成されています。

【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用
【部品代】部品および補助材料代
【出張料】技術者を派遣する費用

●補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、この電気錠操作器の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、お客様ご相談窓口（別紙一覧表参照）にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などは、ホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/